

「Wi-Fi提供者向けセキュリティ対策の手引き」で医療機関で特に重要と考えられる対策

来訪者向けWi-Fiと業務用無線LANは分離しましょう
また、機器管理用PWは推測されにくいものを設定しましょう

無線LANの暗号化パスワードを掲示等する場合は
解読リスクがあることを認識しましょう

設定の書き換え、
アクセスログの盗難



意図したエリア内に限ってサービスが提供されるように、電波の出力等について適切に調整しましょう（電波漏れ等のリスク）

混雑を避けるために周波数やチャンネルをよく検討しましょう
（業務用Wi-Fiや患者持込の回線との干渉リスク）



混雑により、データ入力中に切断して入力し直し



エリア外で勝手に利用され、悪意ある利用がされることも

セキュリティ対策を徹底し、大切な情報を守りましょう！